



ごみ減量大作戦 実行中

問い合わせ…市環境課（内線233）

ごみ処理に関する数字の話

3つのRなど次の①～⑤が表すものは何でしょう

ごみ収集・処理に関連する次の5つの文字や数字は何を表しているか考えてみましょう。

- ① 3つのR
- ② プラス5・5%
- ③ 1041グラム
- ④ 75000円
- ⑤ 平成23年4月1日

ごみ減量につながる大切なポイントが含まれています

解説を良く読んで今日からごみを減らしましょう。

① 3つのR
 リデュース (Reduce: 排出抑制)、リユース (Reuse: 何度も使う)、リサイクル (Recycle: 資源としてしっかりと分別) の頭文字のRを使ったごみ減量のキーワードです。買い物やごみ出しの際には、3Rを意識しましょう。

② プラス5・5%
 本年と昨年の4～9月間のごみ排出量を比較した数字です。一般廃棄物排

出量が昨年に比べ5・5%増えていきます。生ごみの水分をもうひと絞りするこことや分別の徹底をお願いします。

③ 1041グラム

市民一人が1日に出しているごみ量です。平成21年度の一般廃棄物排出総量から計算しました。毎日、一人が小さな鉄アレイ1個分の重さのごみを出している状況です。県内平均値は914グラム。一人1日あと150グラム(例・作りすぎたご飯1膳分)のごみを減らす・出さない工夫が必要です。

④ 75000円

家庭系ごみを収集する経費は年間約1億5千5百万円掛かっています。これをごみ集積所数(2066カ所)で割った数字です。地域で共同使用のごみ箱も戸別ごみ箱も同じ経費が掛かっています。収集効率の悪い戸別ごみ箱の集約にご協力をお願いします。

⑤ 平成23年4月1日

平田地区に建設中の岩手沿岸南部クリーンセンターで3市2町による広域ごみ処理を開始する日です。平成23年4月からの市のごみ分別区分や収集体制、料金の変更については、決まり次第お知らせします。

レッツごみ減量

(荒金地区と大洞地区でのモデル事業)

環境共生ごみ減量モデル事業実施地区

市は現在、唐丹町荒金地区、甲子町大洞地区をモデル地区として、環境共生ごみ減量モデル事業を実施しています。これは、循環型社会の構築に向け、ごみ収集や処理の時に発生する二酸化炭素を減らすため、地域一丸となって取り組む事業です。

ごみ減量に効果があります

具体的には、①収集・焼却効率の悪い「生ごみ」を処理容器を使用した堆肥化と水切り徹底により減量し

ます。②資源物の分別徹底や集団回収を実施し、リサイクルします。③ごみ減量効果が確認できたら、1回3袋の排出制限はそのままに、一般ごみ収集を週1回に減らします。

この取り組みで、ごみの収集運搬や処理(焼却)時に発生する二酸化炭素や消費する燃料などの削減、ごみ減量に対する意識の高まり、資源物の適正なリサイクルが期待できます。

このモデル事業は、平成20年度に橋野地区で先行実施され、地区の皆さんの協力で減量効果はつきり表れました。そこで、この取り組みを市内に広げるため、実施しています。

※平成23年1月から一般ごみの直接持ち込み先が平田地区の岩手沿岸南部クリーンセンターに変わりますので、ご注意ください。